

市立御前崎総合病院
第4期中長期計画
2024（令和6）年度 点検評価報告書

2025（令和7）年7月

御前崎市

目 次

1	点検・評価について	1
2	数値目標に係る評価	2
3	目標達成に向けた具体的な取組に係る評価	5
4	収支計画	9
5	総評及び今後の対策について	11

1 点検・評価について

2022（令和4）年3月に総務省から発出された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、市立御前崎総合病院（以下「当院」という。）では、2024（令和6年）2月に「市立御前崎総合病院・第4期中長期計画書（2024（令和6）年度～2027（令和9）年度）」（以下「本計画」という。）を策定しました。

本計画の実施状況の評価について、本計画第11章「点検・評価・公表」において、「評価に当たっては、市立御前崎総合病院中長期計画検討委員会にて進捗状況を毎年報告し協議します。」としています。

このたび、2024（令和6）年度の実施状況について、点検・評価を行いましたので報告いたします。なお、評価基準については以下のとおりです。

<評価基準>

区分	定性評価	定量評価
S	計画を大きく上回る（極めて順調）	110%以上
A	計画を上回る（順調）	100%以上
B	概ね順調・計画どおり（注意が必要）	90%以上
C	多少の遅れあり（対策が必要）	80%以上
D	大幅に遅れあり（早急な改善が必要）	70%以上
E	停止・未着手（計画の抜本的な見直しが必要）	70%未満

2 数値目標に係る評価

(1) 事業全体

項目	単位	2023年度	2024年度				
		令和5年度	目標	実績	前年比	目標達成率	評価
事業全体		実績	目標	実績	前年比	目標達成率	評価
経常収支比率	%	92.0	98.2	93.8	102.0%	95.5%	B
修正医業収支比率	%	79.9	82.0	82.4	103.1%	100.5%	A
資金不足比率	%	-	-	-	-	-	-
累積欠損金比率※ 【マイナス目標】	%	15.8	15.2	23.9	66.1%	63.6%	E

※累積欠損金比率については、計算式に誤りがあったため、中長期計画の目標値を訂正しております。

(進捗状況)

2024年度(令和6年度)の事業全体の経営実績について、経常収支比率は93.8%となり、前年実績(92.0%)を上回りましたが、目標値(98.2%)には届かず、目標達成率は95.5%にとどまりました。

修正医業収支比率(繰入金を除く実質医業収支比率)は、82.4%となり、前年実績(79.9%)を上回るとともに、目標値(82.0%)も達成しました。

資金不足比率は、2024年度に資金不足が発生していないため、算出および評価の対象外としています。

累積欠損金比率は、23.9%となり、前年実績(15.8%)および目標値(15.2%)から大きく乖離しており、目標未達成となりました。この要因としては、目標(計画)よりも一般会計からの繰入金が減少したこと(P10表参照)が挙げられ、財務面における大きな課題となっています。

(2) 医療事業

項目		単位	2023年度	2024年度				評価	
			令和5年度	令和6年度					
医療事業			実績	目標	実績	前年比	目標達成率		
収支改善 指標	給与費比率【マイナス目標】		%	70.6	68.2	68.4	103.2%	99.7%	B
	経費比率【マイナス目標】		%	24.6	22.3	26.0	94.6%	85.8%	C
収益確保 指標	入院患者数	延べ入院患者数	人	56,901	58,423	58,084	102.1%	99.4%	B
		1日当たり新入院患者数(全体)	人	4.2	4.2	4.8	114.3%	114.3%	S
	外来患者数	延べ外来患者数	人	66,210	79,936	66,759	100.8%	83.5%	C
		初診外来患者数	人	7,288	6,909	7,353	100.9%	106.4%	A
	入院診療単価	急性期	円	55,789	53,000	54,778	98.2%	103.4%	A
		地域包括ケア	円		35,000				E
		回復期	円	35,294	36,908	36,802	104.3%	99.7%	B
		療養	円	21,816	21,445	21,717	99.5%	101.3%	A
	外来診療単価		円	15,924	16,500	14,895	93.5%	90.3%	B
	病床稼働率(全体)		%	80.6	82.9	82.5	102.4%	99.5%	B
	急性期平均在院日数(地域包括ケア含む)		日	13.0	13.4	12.1	93.1%	90.3%	B
	医師数		人	12	11	13	108.3%	118.2%	S
	看護師数		人	113	117	108	95.6%	92.3%	B
	看護助手・介護職員数		人	38	34	35	92.1%	102.9%	A
	医療技術員数		人	71	74	74	104.2%	100.0%	A
医療機能に係る指標	地域医療救急貢献率		%	59.8	69.1	62.2	104.0%	90.0%	B
	健診実施件数		件	5,879	5,783	5,676	96.5%	98.1%	B
医療の質に係る指標	在宅復帰率		%	97.7	80.0	96.6	98.9%	120.8%	S
	患者満足度	入院	点	4.29	4.35	4.29	100.0%	98.6%	B
		外来	点	4.26	4.30	4.18	98.1%	97.2%	B
連携強化に係る指標	紹介率		%	28.0	25.0	27.9	99.6%	111.6%	S
	逆紹介率		%	28.2	24.0	32.3	114.5%	134.6%	S
	1か月あたり医療施設、クリニック訪問件数		件	6.4	10.0	10.0	156.3%	100.0%	A

(進捗状況)

2024(令和6)年度の医療事業は、内科医師2名の着任により入院患者数が増加(前年比102.1%)し、概ね目標水準を確保しました。一方、外来患者数は目標に届かず、前年並み(前年比100.8%)にとどまりました。

また、外来診療単価は、リウマチ治療薬など高額薬剤の処方減少により、近年減少傾向が続いています。

看護師数は、年度末に退職・休職が相次ぎ、目標を大きく下回りました。これに伴い入院受け入れを一時制限せざるを得ない状況となっており、早急な人員体制の改善が急務となっています。

(3) その他関連事業

項目		単位	2023年度	2024年度				
			令和5年度	令和6年度			評価	
			実績	目標	実績	前年比		目標達成率
介護事業								
収支改善指標	事業収支比率	%	87.1	87.1	92.4	106.1%	106.1%	A
	費用削減指標	給与費比率【マイナス目標】	%	116.2	96.8	89.4	130.0%	108.3%
経費比率【マイナス目標】		%	14.9	11.6	11.4	130.7%	101.8%	A
収益確保指標	訪問看護件数	件	4,847	6,700	5,531	114.1%	82.6%	C
	居宅介護支援人数	人	783	950	804	102.7%	84.6%	C
経営安定性指標	看護師数	人	7	7	5	71.4%	71.4%	D
附帯事業								
収支改善指標	事業収支比率	%	94.4	103.4	104.3	110.5%	100.9%	A
	費用削減指標	給与費比率【マイナス目標】	%	73.4	66.3	66.1	111.0%	100.3%
経費比率【マイナス目標】		%	21.5	19.6	19.6	109.7%	100.0%	A
収益確保指標	老人保健施設利用率	%	86.5	92.0	87.7	101.4%	95.3%	B
	通所リハビリテーション延利用者数	%	7,523	7,290	7,002	93.1%	96.0%	B
経営安定性指標	看護師数	人	7	7	7	100.0%	100.0%	A
	介護職員数	人	16	17	16	100.0%	94.1%	B
	医療技術員数	人	12	11	12	100.0%	109.1%	A
家庭医療事業								
収支改善指標	事業収支比率	%	102.2	103.7	102.5	100.3%	98.8%	B
	費用削減指標	給与費比率【マイナス目標】	%	65.8	64.8	70.0	94.0%	92.6%
経費比率【マイナス目標】		%	17.4	16.2	16.0	108.8%	101.3%	A
収益確保指標	延べ外来患者数	人	24,334	24,057	24,892	102.3%	103.5%	A
	外来診療単価	円	5,358	6,000	5,133	95.8%	85.6%	C
	訪問診療件数	件	1,228	1,264	1,393	113.4%	110.2%	S
	訪問診療単価	円	39,740	45,333	40,711	102.4%	89.8%	C
	訪問リハビリ件数	件	4,505	4,860	5,253	116.6%	108.1%	A
	訪問リハビリ単価	円	3,160	3,044	3,109	98.4%	102.1%	A
経営安定性指標	医師数	人	7	8	7	100.0%	87.5%	C
	看護師数	人	2	2	3	150.0%	150.0%	S
	医療技術員数	人	6	6	6	100.0%	100.0%	A

(進捗状況)

2024（令和6）年度の介護事業は、看護師確保に苦慮し、前年より2名減員となりましたが、訪問看護件数は前年比114.1%と増加したため、事業収支は前年を上回り、目標も達成しました。

附帯事業では、他会計負担金の増額により事業収支比率は改善したものの、施設利用率がやや低迷しており、課題は残ります。

また、家庭医療事業の事業収支比率については、概ね前年並みを維持しましたが、目標にはわずかに届かず、改善の余地があります。

3 目標達成に向けた具体的な取組に係る評価

ビジョン・重点項目		方針・施策		2024（令和6）年度評価	
				評価	主な要因・成果・課題など
① スーパーケアミックス病院					
1. 医療・介護機能の充実					
1)	高齢者医療の充実	I	スーパーケアミックス型病院として、医療から介護までのサービスを提供します	C	在宅復帰率や薬剤指導、栄養指導件数などは目標を達成したものの、担当の常勤医師の退職などの影響もあり手術件数や人工腎臓件数は大きく下回りました。
		II	高齢者特有の疾患や、生理的現象に応じた医療、介護を充実します	S	栄養サポートチームや褥瘡対策、認知症ケア、排尿ケア、二次性骨折予防などのチーム医療の介入件数はいずれも目標を大きく上回りました。
		III	多職種協働した意思決定支援のもと、在宅療養支援を強化します	B	入退院支援と介護支援連携指導は目標を達成したものの、退院時共同指導件数は大きく未達となりました。
2)	働き手の確保	I	常勤医師、看護師、コメディカルなどの確保を進め、診療体制の安定を目指します	B	医師については内科医師の確保などで目標を達成しましたが、看護師数は退職が多く新規採用でも補充しきれなかったこともあり目標に未達となりました。
		II	当圏域内各病院と連携を強化し、職員派遣等の仕組みを検討します	B	R6年9月聖隷浜松病院より薬剤師の派遣受入れを開始しました。また、近隣病院に対しては、5病院院長事務長会議などで職員派遣について投げかけを行っています。
3)	人材の育成・確保	I	将来の経営を担う人材育成の教育体制を充実します	A	全職員対象とした質向上研修会や目標管理発表会を開催し、職員の経営意識の向上に努めました。
		II	将来の地域医療を担う総合医の育成を進めます	B	静岡家庭医養成プログラムにより、御前崎市家庭医療センターしろわクリニックを拠点にした家庭医の育成を行っています。研修医は計画どおりの在籍数を確保しています。
		III	将来の医療人材確保のために、小中高生に向けた講習や体験会の実施、大学生・専門学生に向けたリクルーティング活動を強化します	A	中学校の職業体験の受け入れや、医学生・看護学生の実習受け入れを継続的に実施しました。また、看護師等の確保に向けて大学や看護学校への定期訪問を実施しました。

※定量的な進捗評価は、「別表：病院計画実績評価票」の評価指標実績に基づき実施。（以下同様）

2. 連携機能の強化・地域包括ケアシステム支援						
	1)	医療・介護施設との連携強化	I	地域医療・介護施設等と連携を密にし、地域包括ケアシステムに貢献します	A	医療施設やクリニックへの訪問件数は目標を大きく上回り、地域ケア会議への参加も含め積極的な地域連携活動の取組を推進しました。紹介率・逆紹介率ともに目標を上回りました。
			II	当院と家庭医療センターの連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します	C	しろわクリニックとの定例会議は、実施できませんでしたが、R7年度から定期的な開催を予定しています。しろわクリニックへの紹介件数は目標を上回ったものの、逆紹介患者数は未達となりました。
			III	家庭医療センターによる訪問診療、訪問リハビリを提供し、在宅サービスの強化を図ります	A	訪問診療件数、訪問リハビリ件数ともに目標を上回りました。
			IV	地域に不足する訪問看護サービスの強化を図ります	C	訪問看護への看護師配置が計画どおりには進まなかったため、訪問看護件数の目標は未達となりました。
	2)	救急機能の堅持	I	当圏域内の施設と連携を図り、後方支援病院の役割を担います	B	救急車の受入件数・応需率は、いずれも概ね目標どおりでした。訓練は、総合防災訓練が中止となったため、実施件数・参加者数の目標は未達となりました。

② 健全経営・働きやすい環境整備				
3. 健全経営				
1)	健全な経営の実現	I	健全経営に向け、病床稼働率を高めるなど、経常収支黒字化を目指します	B 延外来患者数は目標に大きく未達、延入院患者数は概ね目標どおりでした。特に病床稼働率向上のため、電子カルテTOP画面に稼働率目標と実績を表示し職員の意識向上に努めたほか、ベッドコントロール会議についてより具体的な議論ができるよう2部制会議を導入しました。また新たにベッドコントロール専任者の配置を検討しています。
2)	業務の効率化	I	タスク・シフト/シェアに取り組み、各部署の業務の効率化を進めます	B 医師事務作業補助者は1名減員となっており確保に努めています。タスク・シフト/シェアに関しては、医師・看護師負担軽減委員会において、医師や看護師からの要望を聴取し、労務負担の軽減を目的とした取り組みを推進しています。
		II	DXの導入によってタスクシフティングを進めます	D 医療DXの導入に関しては、事務部中心に検討していますが、予算確保の課題もあることから、今後は費用対効果を十分考慮したうえで、具体的な検討を進めていく予定です。
3)	費用削減・人員配置	I	委託費等の経費を見直し、費用削減に取り組みます	B 外部から経費適正化の経験に長けたアドバイザーを定期招聘し取組を進めています。委託費は物価や人件費の上昇などにより増加傾向にありますが、画像診断機器の保守費用の見直し（年額▲360万円）やエアシュータ搬送機の更新中止（年額▲198万円+改修費1800万円×4年分）などで成果も上がっています。
		II	人員配置を最適化し、人件費の適正化を図ります 各部門の体制を見直し、病院事業全体の最適化を図ります	B 職員給与のベースアップなどで、人件費の上昇傾向は続いています。人員配置の工夫や時間外勤務の削減など効率化に向けた取組を推進しています。職員の給与費比率は概ね目標どおりでした。
		III	施設設備の老朽化に伴い発生する修繕や取替工事等の計画を策定し、施設管理コストの最適化を図ります	A 御前崎市総合計画実施計画どおりに実施しました。
4)	DX化への対応	I	DX化を推進するためにIT人材の育成・確保を検討します	C 院内での部署間連携強化や、外部の専門家の支援を実施していますが、医療DX等に対応するためのIT専門職員は不在であるため、引き続き市へ要請をしていきます。
		II	全職員のIT関連の知識向上を目指します	A 全職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施しました。

4. 職員が誇りをもてる職場づくり				
1)	市民に愛される病院	I	職員が誇りを持ち、市民に親しみを持ってもらうため、広報活動を促進します	B 広報委員会で検討した結果、ホームページの全面リニューアルは今年度行わず、一部を業者依頼し、残りはHP担当で修正作業を行うこととしました。ホームページの閲覧数は目標に大きく未達となりましたが、SNSを活用や情報発信は大きく増加しました。
		II	職員は定期的な接遇研修を受講するなど、更なる接遇向上を目指していきます	E 職員を対象とした接遇研修を開催しましたが、院内で別の必須研修があったため、参加者数の目標には大きく届きませんでした。
2)	働きやすい職場環境の整備	I	ハラスメント防止・医療安全に努め、働きやすい環境を整備します	A 医療安全管理や院内感染対策について、概ね目標どおり実施できました。職員のハラスメント研修についても計画どおり実施しました。
		II	子育て・介護支援・定年延長などの制度を活用し、働き続ける環境整備を進めます	C 職員離職率は、目標を未達成でした。看護職員や介護職員の比較的経験の浅い職員の離職が想定以上にありました。また、職員1人当たりの時間外労働の削減についても、目標を未達成でした。主に看護職員の労務管理の適正化により時間外勤務として計上する時間数が増加となりました。
3)	キャリア形成	I	職員の専門性を高めるための支援を行います	S 緩和ケアと認知症看護の認定看護師をそれぞれ1名が取得し、目標を達成しました。
		II	自ら学び、地域のニーズに応えることのできる職員の能力開発を推進します	B 全職員対象とした職員満足度調査を実施しました。結果については、職場環境の改善などに活用しています。

4 収支計画

1. 収益的収支

(単位:千円、%)

区分	年度	2023年度 令和5年度 (実績)	2024年度 令和6年度 (実績)	(計画)	2025年度 令和7年度 (計画)	2026年度 令和8年度 (計画)	2027年度 令和9年度 (計画)
	収入	1. 医業収益 a	4,290,305	4,391,296	4,638,228	4,869,370	4,970,832
	(1) 料金収入	3,494,821	3,523,848	3,791,605	4,016,483	4,112,211	4,287,553
	(2) その他	795,484	867,448	846,623	852,887	858,621	837,707
	うち他会計負担金 x	125,300	130,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	2. 医業外収益	719,779	676,799	999,693	985,222	933,228	922,991
	(1) 他会計負担金・補助金	155,900	116,200	359,000	334,000	259,000	254,000
	(2) 国(県)補助金	455,184	450,571	501,000	501,000	501,000	501,000
	(3) 長期前受金戻入	95,199	90,897	125,383	135,912	158,918	153,681
	(4) その他	13,496	19,131	14,310	14,310	14,310	14,310
	経常収益(A)	5,010,084	5,068,095	5,637,921	5,854,592	5,904,060	6,048,251
支出	1. 医業費用 b	5,214,046	5,170,143	5,507,061	5,548,568	5,697,997	5,735,981
	(1) 職員給与費 c	3,052,149	3,013,376	3,164,958	3,209,682	3,247,537	3,265,257
	(2) 材料費	671,707	615,179	807,061	780,765	801,627	838,015
	(3) 経費	1,012,735	1,069,512	991,887	994,155	995,445	1,002,091
	(4) 減価償却費	458,516	425,178	506,276	539,635	620,182	610,123
	(5) その他	18,939	46,898	36,879	24,331	33,206	20,495
	2. 医業外費用	239,632	233,371	231,517	232,831	236,197	236,029
	(1) 支払利息	3,579	3,570	4,176	4,109	4,363	4,190
	(2) その他	236,053	229,801	227,341	228,722	231,834	231,839
	経常費用(B)	5,453,678	5,403,514	5,738,578	5,781,399	5,934,194	5,972,010
	経常損益(A)-(B)(C)	▲ 443,594	▲ 335,419	▲ 100,657	73,193	▲ 30,134	76,241
特別損益	1. 特別利益(D)	6,503	7,588	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	3,807	37,149	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	2,696	▲ 29,561	0	0	0	0
	純損益(C)+(F)	▲ 440,898	▲ 364,980	▲ 100,657	73,193	▲ 30,134	76,241
	累積欠損金(G)	678,704	1,048,074	706,076	632,885	663,018	586,777
	流動資産(ア)	1,802,240	1,690,192	1,670,129	1,877,833	1,872,266	2,073,117
	流動負債(イ)	554,666	680,124	585,246	599,084	634,038	525,208
	経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	91.9	93.8	98.2	101.3	99.5	101.3
	修正医業収支比率 $\frac{a-x}{b} \times 100$	79.9	82.4	82.0	85.6	85.1	87.3
	職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	71.1	68.6	68.2	65.9	65.3	63.7
	病床利用率	78.1	80.0	82.9	82.6	83.9	89.5

2. 資本的収支

(単位: 千円、%)

区分	年度	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
		令和5年度 (実績)	(実績)	(計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
収入	1. 企業債	20,000	134,300	300,000	100,000	300,000	100,000
	2. 他会計出資金	20,000	0	50,000	50,000	50,000	50,000
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0
	7. その他	50	0	0	0	0	0
	収入計 (A)	40,050	134,300	350,000	150,000	350,000	150,000
支出	1. 建設改良費	153,235	272,775	599,281	285,800	621,000	300,000
	2. 企業債償還金	98,271	101,429	111,389	144,343	157,603	190,462
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	6,702	13,405	13,405	18,025
	支出計 (B)	251,506	374,204	717,372	443,548	792,008	508,487
	差引不足額 (B)-(A) (C)	211,456	239,904	367,372	293,548	442,008	358,487
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	225,556	264,964	321,302	293,548	442,008	358,487
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	857	1,459	46,070	0	0	0
	計 (D)	226,413	266,423	367,372	293,548	442,008	358,487

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位: 千円)

	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
	令和5年度 (実績)	(実績)	(計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
収益的収支	(570,000) 946,200	(620,000) 966,200	(825,000) 1,200,000	(795,000) 1,150,000	(715,000) 1,050,000	(700,000) 1,000,000
資本的収支	(0) 20,000	(0) 0	(0) 50,000	(0) 50,000	(0) 50,000	(0) 50,000
合計	(570,000) 966,200	(620,000) 966,200	(825,000) 1,250,000	(795,000) 1,200,000	(715,000) 1,100,000	(700,000) 1,050,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。

5 総評及び今後の対策について

(1) 2024（令和6）年度の経営状況

2024（令和6）年度は、前年度と比較して入院患者数が増加し、それに伴い医業収益もわずかに増加しました。一方、看護師を中心とした離職者の増加や、薬剤・材料費の減少などの影響により、医業費用は前年度よりも抑制されました。

これらの結果、繰入金を除いた実質収支（修正医業収支比率）は82.4%となり、前年度の79.9%を上回るとともに、目標値である82.0%も達成しました。

しかしながら、繰入金を除いた医業収益と医業費用の差額は約9億円の赤字となっており、依然として厳しい経営状況が続いています。

(2) 経営上の重要課題

当院が抱える経営上の重要課題は、入院患者確保（病床稼働率向上）と医療人材確保です。慢性的な医師・看護師不足により、十分な入院患者の受け入れが困難となっており、病床稼働率および医業収益の低迷に繋がっています。

2024（令和6）年度には、看護師の退職や休職が相次ぎ、急性期病棟の稼働病床を79床から60床以下に制限せざるを得ない状況となっており、経営に大きな影響を及ぼしています。

この状況を改善するため、以下の対策を講じています。

- ・看護師等の採用強化
- ・多様で柔軟な勤務体制の導入
- ・診療報酬加算を活用した処遇改善

これらの取り組みにより、できる限り早期に稼働病床の制限解除を目指します。

また、病床稼働率向上のための新たな施策として、ベッドコントロール専任者の配置を検討しています。専任の看護師を中心に、医師および事務職員と連携したチームを構成し、入院患者の転棟や退院調整を円滑に行うことで、急性期から慢性期までの機能別病床の有効活用を図ります。

さらに、入院料や加算などの施設基準の届出・算定についても、費用対効果を踏まえ、当院にとって最適な診療報酬請求のあり方を検討していきます。地域包括ケア病棟の導入については、慎重に検討を進めてまいります。

(3) 経費の適正化と ICT 活用

経費の適正化に向けては、外部有識者の参画のもと、医事課および各部門に配置されている事務職員（委託・派遣）の業務内容や仕様範囲を整理し、人員配置の適正化を図ります。特に医事業務の委託については、令和 7 年度中にプロポーザル方式による業者選定を予定しています。

また、業務の効率化と質の向上を目的として、ICT の導入および医療 DX 推進に向けた取り組みを強化していきます。

具体的には、以下の施策を進めます。

- ・専任 IT 担当者の配置
- ・情報セキュリティに関する BCP（事業継続計画）の策定
- ・次期電子カルテ更新（令和 8 年度）に向けた業者選定の検討

(4) 今後の経営方針

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響、国の医療費抑制政策、少子高齢化の進展に伴う医療需要の変化、医師・看護師不足、人件費・物価の上昇など、病院経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。加えて、当院の建物は築 39 年が経過し、老朽化が進んでいることから、今後の運営方針についても抜本的な事業の見直しが求められています。具体的には、より機動的な経営を実現するための「地方公営企業法の全部適用」の導入や、附帯事業（老健はまおか等）における経営形態の見直しなど、周辺自治体との連携や動向も踏まえながら、具体的な検討を進めてまいります。

市立御前崎総合病院 第4期中長期計画
2024（令和6）年度 点検評価報告書

市立御前崎総合病院
〒437-1696
静岡県御前崎市池新田 2060
TEL (0537) 86-8511